

働き方改革通信😊

No.29 令和6年(2024年)7月11日発行
発行：函館市教育委員会学校教育部
教育政策推進室教育政策課 TEL: 21-3523
gakko-keikaku@city.hakodate.hokkaido.jp

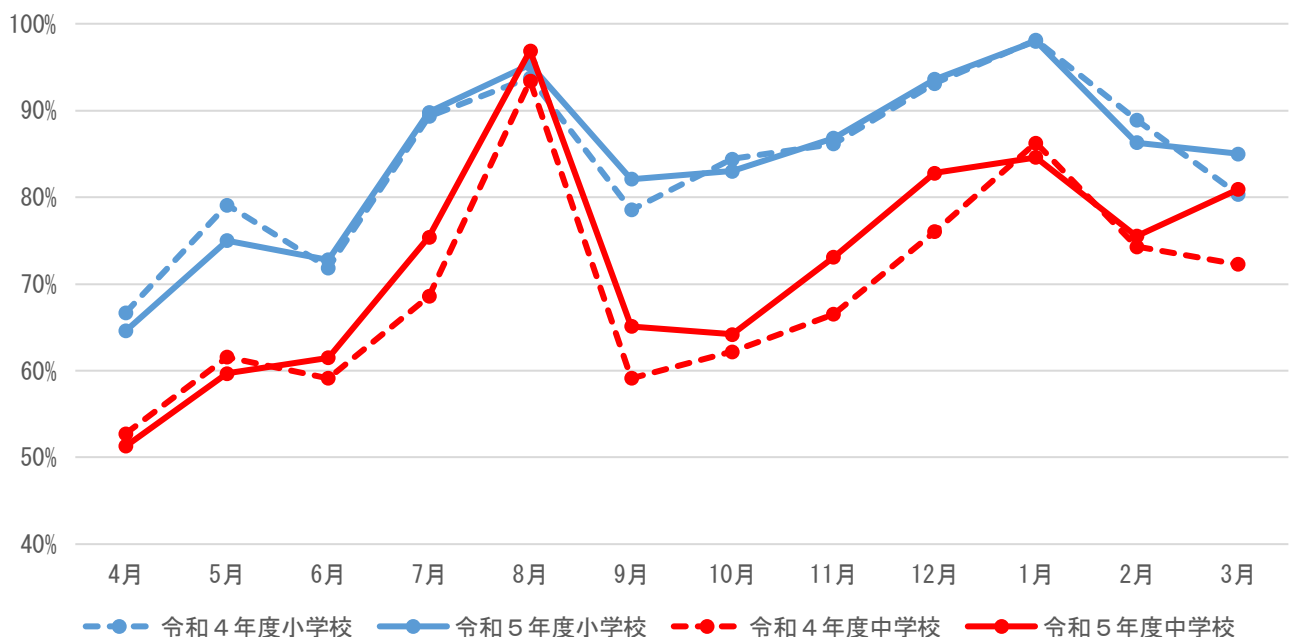
時間外在校等時間の令和5年度の状況

函館市教育委員会では、教職員が健康でやりがいをもって働く環境を整え、児童生徒と向き合う時間を確保できるよう、北海道教育委員会が策定している「学校における働き方改革 北海道アクション・プラン（第3期）」を参考としながら、市教委と学校が取り組む必要がある事項を整理し、「教職員の業務改善のための取組」を定め、今年3月に改訂いたしました。取組期間の令和8年度（2026年度）までに、検証を行いながら取組を着実に進めるため、次のとおり目標を設定しております。

教員の1日の在校等時間から所定の勤務時間を除いた時間を
1か月で45時間以内、1年で360時間以内とする。

I Cカードによる出退勤時刻のデータから、令和5年度の時間外在校等時間の実績を集計しましたので、お知らせします。昨年度と比べ、月によって増減はあるものの、今年度も概ね同様の傾向が見られます。各学校においては、集計結果を参考に、自校の状況や取組を改めて検証し、効率的・効果的な業務改善を進めていただくようお願いします。

月45時間以内の教員の割合の推移（月別）



令和4年度

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
小学校	66.7%	79.1%	71.9%	89.3%	93.8%	78.6%	84.4%	86.2%	93.1%	98.1%	88.9%	80.3%
中学校	52.8%	61.6%	59.1%	68.6%	93.4%	59.1%	62.2%	66.5%	76.0%	86.3%	74.3%	72.3%

令和5年度

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
小学校	64.6%	75.0%	72.8%	89.8%	95.3%	82.1%	83.0%	86.8%	93.6%	98.0%	86.3%	85.0%
中学校	51.3%	59.7%	61.5%	75.4%	96.9%	65.1%	64.2%	73.1%	82.8%	84.6%	75.5%	80.9%

若手教職員への支援について

函館市教育委員会では、「教職員の業務改善のための取組（平成 29 年 12 月策定）」を令和 6 年 3 月に改訂しました。改訂した内容の中の「若手教職員の支援」について、紹介します。

A さんと B さん(ともに中学校勤務1年目)に業務についてお聞きしました



業務について、教員になる前にイメージしていたことと異なることはありますか？

あまり大きな違いはありませんでした。

業務の中で最も時間がかかる業務は何ですか？

授業の準備です。どんな授業をしたら、生徒が飽きずに楽しみながら学べるか考えています。

もっと帰りが遅かったり、年休が取りづらかったりするのかと思っていましたが、声をかけていただくので、自分で早く帰ろうと心がけたり、年休も取りやすいです。

業務の中で困ったことがあったときはどうしていますか？

教頭先生や同じ学年の先生、同じ教科の先生にすぐ相談しています。

私も何か起こったことは、すぐに共有することを心がけています。いつも気にかけて話しかけてくれる先生がいるのでありがたいです。

予想外だった業務は？

祭典の巡視です。

教室内の高い場所などの清掃です。

他にも、業務を時間内に終わらせるために、付箋にやることリストを書き、「今日は〇時までに帰れるようにしよう」と決めて業務を進めていることや、先輩の先生が保護者を話しているのを聞いて、保護者対応を学んでいること、困ったときにはいろいろな先生に聞いてもらおうと自分から声をかけていることなど、業務を進めるうえでの工夫をお聞きすることができました。

若手教職員の支援には

上記の二人も、業務上で困ったことがあったときに、今のように先輩の先生方が声をかけてくれることがなかったり、聞きやすい雰囲気でなかったりすれば、つらい気持ちになってしまうかもしれないと話していました。

北海道教育委員会が過去に行ったアンケートでも、「先輩教職員による助言や声かけ」が初任段階教職員自身の成長において重要であったと回答しています。学校全体で、若手教職員の日頃の様子を観察・把握し、一人で仕事を抱えていたり、悩んでいたりする場合には、すぐに声掛けを行っていただき、若手の教職員が孤立することがないように支援していくことが大切です。